

患者さんへ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題名： 市立札幌病院における献腎腎移植術での脳死下臓器提供及び心停止下臓器提供件数の後ろ向き観察での検討

研究機関： 市立札幌病院 麻酔科

研究責任者： 麻酔科 副部長 檀上 渉

研究の目的： 我が国における臓器移植件数は、先進国の中でも非常に低い水準にある状況が続いている。そのうち脳死下臓器提供数は、改正臓器移植法施行後徐々に増加しているものの、諸外国に比べはるかに少ない状況は法改正前と同じである。一方、心停止下臓器提供は減少傾向にある。

ガイドライン上の 5 類型に該当する臓器提供施設である当施設は、札幌市の中核に位置し、救命救急センターを中心とした急性期医療及び高度先進医療を提供する基幹病院として札幌市のみならず北海道全体を俯瞰する重要な役割を担っている。又、全国で有数の実績を誇る腎臓移植登録施設でもある。当施設は自ら臓器移植法改正以前から現在までに 10 件の脳死下臓器提供を行っているだけでなく、それに付随する献腎移植術を並行して行い、また、他施設で発生した脳死下臓器提供による献腎移植術も経験している稀有な施設と思われる。同時に、臓器移植法施行以前より心停止下臓器提供による献腎移植術を積極的に行っており、当施設での症例を対象とした献腎移植術での脳死下臓器提供及び心停止下臓器提供件数の推移を後ろ向き観察での検討を行う。

研究の方法：

1 対象となる患者さん

2006 年～2019 年の間に当施設で献腎移植術を受けた患者さん。

2 利用するカルテ情報

献腎移植術施行日、及び臓器提供が脳死下/心停止下臓器提供のいずれかであるか。

個人情報の取り扱い

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

※上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、ご連絡ください。

【お問い合わせ先】 ☎011-726-2211 札幌市中央区北 11 条西 13 丁目 市立札幌病院麻酔科